



【社会】

<学習内容> 「ごみが生まれ変わる」 「ごみしよりがかかえる問題」

◆教科書 64～67 ページや地図帳、持っている資料などをもとに、ごみのしよりについて調べ、取組シートやノートに取り組もう。

ことば(教科書 P65)

(1) びん・かん・ペットボトルはリサイクルでされて、どのようなものに生まれ変わるかな。

びん⇒ ()

かん⇒ ()

ペットボトル⇒ ()

ことば(教科書 P67)

(2) 3Rのそれぞれの意味にふさわしい言葉をえらび、線でつなごう。

| | |
|-----------------|--------|
| ごみになるものをへらすこと・ | ・リデュース |
| ふたたび使えるようにすること・ | ・リユース |
| 何度もくり返し使うこと・ | ・リサイクル |

(3) ごみしよりにには下のア～ウのような問題があります。一番問題だと思うものをえらんで、その理由を書きましょう。

ア もやせるごみともやせないごみをいっしょにするなど、ごみの分別をしないでごみを出す人がいる。

イ ごみのしゅう集やしよりにだけでなく、せいそう工場が古くなると、新しい工場が必要になるなど、ごみしよりにかかるお金がかかる。※札幌市の2018(平成30)年は216億円

ウ ごみのうめ立て地はやがていっぱいになるので、新しいうめ立て地をさがさないといけない。

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

- ・身の回りでリサイクルされているものを探したり、ごみ問題について自分たちの生活と関連付けて一緒に考えたりすると、意欲的に学ぶことができるだけでなく、リサイクルやごみの処理への意識が高まり、自分の行動を振り返るきっかけになります。